

のぞみ

Public relations magazine "NOZOMI"

Vol.395

2012

07



対談

宮城県知事

村井 嘉浩

公益社団法人仙台青年会議所
第六十一代 理事長

× 茂木 宏友

まち

新たな仙台の創造へ向かって

第43回仙台七夕花火祭

震災復興支援報告

東北地区協議会・宮城ブロック協議会活動報告

2012年度上半期活動報告

第7回例会「感謝の想い溢れるまちづくりプロジェクト第2部」

仙台青年会議所女子座談会



ご贈答に

仙台名産牛たん詰合せセット

送料無料



- 牛たん焼塩 140g×2
- 牛たん焼味噌 140g×1
- ゆで牛たん 120g
- 仙台牛の佃煮 120g

5,600円(税込)



本場手造

仙台名産贅沢牛たんセット

送料無料



- 牛たん焼塩 140g×1
- 牛たん焼味噌 140g×1
- 牛たんソーセージ 80g×2本
- 仙台牛の佃煮 120g
- 仙台牛ハンバーグ 120g
- 牛たんハンバーグ 160g

5,400円(税込)



仙台名物

本場手造り牛たん詰合せ

送料無料



- 牛たん焼塩 140g×2
- 牛たん焼味噌 140g×1

4,100円(税込)



人気商品

本場手造り牛たんとゆで牛たん詰合せ

送料無料



- 牛たん焼塩 140g×1
- 牛たん焼味噌 140g×1
- ゆで牛たん 120g

3,900円(税込)



美味三品

本場手造り特選3種牛たん詰合せ

送料無料



- 牛たん焼塩 140g×1
- 牛たんハンバーグ 160g×2
- 牛たんソーセージ 1本80g×2本

5,400円(税込)

ご注文方法

お電話・FAX・注文書・インターネットでご注文いただけます。

お電話 0120-722-570 FAX 022-304-4150

インターネットで

<http://www.rakuten.co.jp/gold/gyutan-higashiyama/>

牛たん東山 楽天市場

検索

- 1 PC・携帯で“炭焼牛たん東山・楽天市場店”にアクセス
- 2 ご希望の商品を手順に沿ってご購入下さい
- 3 注文完了後、発送のご連絡をメールにて差し上げます



送料について

全国一律750円(沖縄・一部離島は1,500円)

※お届け先1件に対し、商品代金合計が5,000円(税込)以上お買上げ頂いた場合、送料無料でさせていただきます。 ※(沖縄・一部離島は除く)

お支払について

代引き・クレジットカード各種・銀行振込・コンビニ決済がご利用いただけます。



※お電話・FAX・注文書でお申し込みの場合は商品代引きと銀行振込がご利用いただけます。
※銀行振込手数料・コンビニ決済手数料・代引き手数料はお客様のご負担にてお願い申し上げます。

お問合せ先

株式会社ひがしやまフードサービス本部 お客様センター



0120-722-570

受付時間/10:00~17:00(定休日/土曜・日曜・祝日)
〒982-0011 仙台市太白区長町5-13-27

のぞみ

Vol.395



Contents

- 003 | 理事長挨拶
- 004 | **理事長対談**
村井 嘉浩 宮城県知事
×
茂木 宏友 公益社団法人仙台青年会議所第61代理事長
- 009 | 第43回仙台七夕花火祭
- 010 | 震災復興支援報告
- 011 | 東北地区協議会活動報告
宮城ブロック協議会活動報告
- 012 | 2012年度上半期活動報告
- 013 | 第7回例会
「感謝の想い溢れる
まちづくりプロジェクト第2部」の告知
- 014 | 仙台JC女子座談会 Vol.1
- 015 | 次回予告・編集後記

理事長挨拶

公益社団法人仙台青年会議所第61代理事長
茂木 宏友

Hiroto Mogi



経歴
 1974年5月1日生まれ
 2003年 入会・会員開発委員会
 2004年 七夕花火祭特別委員会幹事
 2005年 人間力開発委員会副委員長
 2006年 例会委員会委員/宮城ブロック総務委員会委員長
 2007年 財務運営会議副議長/宮城ブロックみやぎJCアカデミー委員会幹事
 2008年 まちのしあわせ創造委員会委員長
 2009年 副理事長
 2010年 専務理事
 2011年 副理事長/日本JC規則審査会議副議長
 2012年 理事長

新たな仙台まちの創造へ向かって、すべての人へ感謝の想いを胸に

青年会議所(JC)は「明るい豊かな社会」の実現をめざし、地域に根差したまちづくり運動や青少年育成を図る運動を日々展開している団体です。仙台JCは1951年に全国で11番目の青年会議所として誕生し、皆さまのおかげをもちまして、昨年60周年の節目を迎えることができました。新たな歴史を紡ぐべく第61代理事長として1月から就任させていただきました。経緯は早いもので、すでに半年が過ぎようとしております。

年初に掲げた今年の活動方針では、本年度、昨年の震災からの復興に向けて本格的に歩み始めるスタートの年と位置づけました。仙台に住む私たちは、全国・全世界から多くご支援をいただき、市内中心部においては震災前と同様に不自由のない生活ができていると感じます。しかしながら、震災を経験した私たちが、単に震災前の状態を取り戻すだけでは、いつまでも忘れずに心に留めておかなければならないと思います。

このまちに住む人が、震災を契機に実感した「生かされていることへの感謝」の気持ちを常に持ち続けることが、JCの理想とする新たな地域の実現に繋がると確信します。

本年3月11日には勾当台公園市民広場において、仙台市民からの感謝の想いを伝えるキャンドルナイトを実施させていただきました。また、5月からはクリスロード商店街のご協力をいただきながら、感謝の想いを伝えるストラップの製作も続けております。

今後の事業として、第43回を迎える仙台七夕花火祭も、例年のとおり8月5日に開催させていただきます。本年度は、昨年いただきました全国・全世界からのご支援に対する感謝の想いを発信するために盛大に開催させていただきますので、多くの皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

市民の皆さま、関係各所の皆さま、OBの皆さまの変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

宮城県知事

村井 嘉浩 ×

公益社団法人仙台青年会議所
第六十一代 理事長

茂木 宏友

新たな仙^ま台^ちの創造へ向かって

震災から1年、復興に命をかける県政のリーダー村井嘉浩知事。この地域が真の復興を成し遂げるためには、問題が山積している。次世代を担う私たち仙台青年会議所は、未来に向かって、いかに考え行動していくべきか。村井知事と茂木理事長が本音で熱く語る。

3・11東日本大震災から一年を経過して

【茂木理事長(茂)】本日はご多忙の中、対談を快諾いただきまして、ありがとうございます。

【村井知事(村)】こちらこそ多くのJCメンバーにお出でいただき、誠にありがとうございます。

【茂】早速ですが、本日は、昨年3月11日の東日本大震災発災時からの宮城県の対応について伺いし、村井知事のご苦勞や想いを県民の皆さまとJCメンバーに発信していただくことで、今後の復興活動へ繋げることを目的に対談させていただきます。

【村】震災以前、近いうちに宮城県沖地震と同規模の地震が来るといわれておりましたが、それに對

しての備えはおこなっておりません。34年前の宮城県沖地震の時は、仙台市内でビルが倒壊しましたが、東日本大震災においてビルの倒壊は、殆どなかったと思います。建築物は耐震補強もできていました。ただ残念ながら津波への対応は十分ではありませんでした。その結果、過去の経験から作成されていた震災対策の指針などは、全て書き換えを迫られることとなり、今後は、今回と同規模の津波を想定したまちづくりを進めていかなければなりません。

【茂】私自身、東日本大震災を経験し、想定外までも含んだ想定しておくことの難しさを痛感しております。

この場をお借りして、御礼させていただきます。





震災直後の想いを語る村井知事

直後に災害対策本部の一角をJICのスペースとして貸していただきありがとうございます。宮城県職員の方々が必死に活動しているところを間近に拝見して、我々がJICとして何ができるのか本気で考えていました。

【村】災害対策本部の中にスペースを設けたのは、民間の団体ではJICだけでしたね。

【茂】当然でしたが災害対策本部は緊迫した状況下になりました。経験することがない方がよいのですが、通常ではできない経験をさせていただきました。

【村】あの当時、もちろん皆さんの力を頼りにしたいという想いもありました。それと同時に、こういった現場をJICの皆さんに見て欲しいという想いもあったのです。やはりJICの皆さんには期待をしている面もあります。あれだけの混乱している状況で、行政がどのような対応をしているのかを知ること

【村】復興を考えると、最初にポタンをかける時期が非常に重要で、最初にポタンを掛け違えてしまうと、最後になると大きくずれてしまいます。やはり東日本大震災からの復興は、阪神・淡路大震災に比べ時間がかかるのではないかと感じています。まず地盤沈下による被害が甚大で、そのかさ上げなどをしなければならぬ訳ですから当然のこととして時間がかかります。宮城県の場合は復旧の目途

とは、将来の皆さんにとっても必ず勉強になると思えました。



震災直後のJC活動を話す茂木理事長

仙^ま台^ちの復興と再構築へ向かって

【茂】あの当時は行政とか民間の枠を超えて、何か自分たちができることはないかと、皆の気持ちが一致団結していた時期でした。震災後1年が経過し、村井知事が県のリーダーとしてどのような1年を過ごされていたのか、少しお伺いしたいと思います。

【村】復興を考えると、最初にポタンをかける時期が非常に重要で、最初にポタンを掛け違えてしまうと、最後になると大きくずれてしまいます。やはり東日本大震災からの復興は、阪神・淡路大震災に比べ時間がかかるのではないかと感じています。まず地盤沈下による被害が甚大で、そのかさ上げなどをしなければならぬ訳ですから当然のこととして時間がかかります。宮城県の場合は復旧の目途

が立つまでに5年くらいかかると考えております。そこからさらに5年くらいかけて復興していくと思います。昨年は復興計画の作成に全力投球すると共に、財源確保や規制緩和を認めてもらうことに大きなエネルギーを注ぎ込みました。

この4月からは、いよいよ復興元年。本当のスタートということで一気に前へ進み始めました。すでに計画ができ上がり、県または市町村の職員もその内容をよく理解しており、復旧・復興に向けた動きも加速的に進んでおります。とにかく最初が肝心で、特にこの1年が大事だと思っております。

【茂】著書の中でも触れていましたが、村井知事の緊急事態におけるリーダーシップ、方向性や目的を明確にする部分にとっても共感いたしました。強い信念と客観的な裏付けを持って取り組まれている、復興への強い決意があると感じました。あえて質問させていただきたいのですが、知事は、広い視野を持ち復興を見据えていると思えます。今後、特に力を入れていく必要があると考えられていることを聞かせてください。

【村】一番はやはり産業です。政治や行政はどうあるべきか突き詰めて考えると、私は県民が自らの力で食べていけるようにすることだと考えております。それが種の保存に繋がっていくのです。我々現代に生きるものとして一番大切なことは、次の世代によりよい社会



知事室での対談の様子

を引き継ぎ、安心して子どもを産み育てることができる社会を創っていくかなければならないということとです。税金を湯水の如く使って、行政が仕事を作っていくというのは一つの方法ですが、それは将来の人たちの負担を大きくしているだけだと思います。私は税金をなるべく使わないようにして、民間の活力で社会が構成され、産業が成り立つような宮城を作っていくと考えております。しかしながら、沿岸部は、そんなことをいっていられる状態ではありません。沿岸部の皆さんが自ら立ち上げられるところまで、我々が後押しする必要があります。そして、何とか生活できるレベルまでいったなら、自分たちの力で頑張っていた方がいい。これは、最優先で取り組まなければならないところです。

【茂】沿岸部は、震災前から高齢化が著しく進んだ地域で、震災を契機に、人口の流出が急激に進んでいます。その地域を根本から立て



PROFILE 村井 嘉浩

役職 宮城県知事
生年月日 昭和35年8月20日
血液型 B型
趣味 茶道(茶名:宗浩)
座右の銘 「天命に従って人事を尽くす」
出身地 大阪府

昭和59年3月 防衛大学校(理工学専攻)卒業
昭和59年4月 陸上自衛隊幹部候補生学校入校
昭和59年9月 陸上自衛隊東北方面航空隊(ヘリコプターパイロット)
平成3年4月 自衛隊宮城地方連絡部募集課
平成4年4月 財団法人松下政経塾入塾
平成7年4月 宮城県議会議員(第一期)
平成11年4月 宮城県議会議員(第二期)
平成11年5月 宮城県議会保健福祉委員会副委員長
平成12年7月 宮城県議会循環型社会・環境対策特別委員会委員長
平成14年7月 宮城県議会産業経済委員会委員長
平成15年4月 宮城県議会議員(第三期)
平成16年6月 宮城県議会外郭団体等調査特別委員会委員長
平成17年11月 宮城県知事(第一期)
平成21年11月 宮城県知事(第二期)

直し、産業を自ら生み出すという
ような復興、再構築ができれば、同
様の地域のモデルケースとなり全
国的に評価される宮城県になると
感じております。

【村】その際に注意しなくてはいけ
ないことは、ただ単に元の状態に
戻せばいいのかということ、そうで
はありません。なぜなら時間はど
んどんに進んでいるからです。
10年経てば日本は少子高齢化がま
ずまず進み人口が減少していきま
す。つまり生産年齢人口が減って
いくということをベースに考えな
なくてはならないのです。大規模化・
集約化を進めながら、生産の効率
を高めていくことが非常に重要で
あると考えます。10年20年先の宮
城が、特に沿岸部において発展す
る姿をめざしていきたいという強
い想いがあります。これらを妥協
せずに信念を持ち前へ進んでいき
たいと考えております。

J・Cメンバーへのメッセージ

【茂】村井知事は今後のJ・C活動に
対して期待する点がありますので
しょうか？

【村】J・Cは組織的に色々な活動
をされており、それはとても素晴
らしいことだと思います。同時に、
会社の経営に関わるだけでなく、
もっと大きな組織を動かす勉強も
されていると理解しております。
たとえば理事長になったら方針を
示しますよね。あの理事長方針を
毎年読ませてもらっています。



JCIについて説明する茂木理事長

何日もかけて作られておられますよね。その組織でどうすればいいのかということ、日ごろから深く掘り下げて考えていないと簡単にはできないと思います。また何かをおこなうにしても、明確なプロセスを経て一定の方向性を打ち出されていると思います。40歳で卒業した時に、どんな立場であっても全体を俯瞰できる人になると思います。組織でまとまり社会貢献し、個人の資質を高められる組織であると思います。

【茂】昨年の8、9月くらいから、震災翌年のJCI運動をどのように進めていくべきか非常に悩みました。第一に、被災者の「自立」を考えました。村井知事の著書の中にもありましたが、復興の主体はあくまで、その地域に住む人たち自身です。必要な支援は今後も継続していかなければなりません。一方で、過度の支援に被災者が慣れてしまつては、地域の復興を成し遂げることは難しくなると思います。

す。震災をきっかけに、若い世代が自分たちのまちの将来を本気で考える機会が得られたと思います。今年は、その想いを育む事業を展開しています。

第二に、震災で強く実感できた「生かされていることに感謝する心」を育むということに感謝すること、それが私たちの理想とする「明るい豊かな社会」の実現につながるのではないかと考えました。あの震災当時、電気もない、食料もないという状況下で、自分たちが多くの方々に助けられ、生かされていたのかということが実感できました。復興の過程において、自身の思いどおりに復興が進まずに政策を批判する人も出てくるかもしれませんが。しかし、時の経過とともに忘れてしまわれがちな他者に対する感謝の想いをこの地域に醸成していくことによつて、今後の復興へのプロセスで精神的な指針となるとともに、5年、10年と時間が経過したとしても、私たちの理想とする社会に近づいていくのではと考えました。

5月から今年の事業として、仙台市民から感謝の想い詰め込んだストラップを作っていたアイデアです。その想いを全国のみならず海外の皆さまにも伝えるために、6月の香港アジア会議に集ったメンバーへ配布させていただきました。その際に村井知事の似顔絵ストラップがありましたので、受け取っていただけますでしょうか。
(笑)



現在行われている事業、「感謝のストラップ」を手取る村井知事

【村】なんとなく頬が赤いところなんかが雰囲気がありますね。私の似顔絵を描いていただくといつも頬が赤くなっていますよね。このストラップの「感謝」という文字は誰が書かれたのですか？

【茂】これは私たちの事業に賛同いただきお手伝いをしていたいただいている市民ボランティアの方に書いていただきました。5月から毎週末にクリスロード商店街の3ヶ所で行われている市民の方々と協力しながら通行される市民の方に製作していただき、その場で配布もしております。また、その製作過程やそれぞれの感謝のメッセージを撮影するとともに、市民から文集や寄せ書きを集め、それらに曲をつけて発信していくという試みを行っています。

【村】素晴らしいですね。行政でこのような活動を実施することはなかなか難しいので、JCIの皆さんに活動をしていただけるとありがたいですね。

10年後、20年後の未来を考える
【茂】復興には5年10年という長い期間がかかると思いますが、知事として10年、20年後の宮城県がどのような姿になることを望んでいますか？

【村】そうですね。仙台JCIの理事長からの質問ということでお答えをしましょう。仙台市は、やはり商業都市です。工業都市ではありません。先程もいったように人口が減り高齢化が進むということは、本にも書いたとおりですが、商業の街としてはかなり厳しくなつてきます。仙台市は土地の価格も高いですから、仙台を急に工業都市にするということは難しく、引き続き商業都市として生き残るしかない。そのためにも、仙台の周りにはできるだけものづくり産業を主体とした企業を誘致して、仙台市にない部分を補充していく必要があると考えております。そういう企業を誘致するには、仙台市の都市としての魅力が非常に重要なのです。そうすることによつて、うまく仙台圏域の中で、一次産業から三次産業までのバランスが取れて発展していくと思います。そして仙台が、宮城が発展し、東北が発展するという形にしていきたいと考えております。やはり仙台というのは、東北の中心地であり経済の中心地であつて、まさに磁石の役割を果たしている、この足腰が駄目にならないと東北全体が駄目になると思うのです。私は

村井 嘉浩
×
茂木 宏友

新たな仙台の創造へ向かって



道州制を進めたいと考えておりませんが、その推進のためには、仙台のポテンシャルをさらに高めていくことが大事であります。そのためにも宮城県全体として仙台の経済が失速しないように、私は支えていきたいと思っています。

【茂】そうですね。長期間に渡る復興を考えれば私たちJICの運動の方向性も10年後、20年後の方向性を明確に示す必要があると思います。何より一つの方向に進むということは、会員の結束を高め、より効果的な運動の発信につながると思います。

【村】そうですね。それは興味深いですね。

【茂】昨年道州制に関して、JICの東北地区協議会の中で議論をしておりましたが、道州制に関して賛成する方がそれなりにいると思われませんが、実現に至らないのは何処に原因があるのか検証していく必要があると思っています。

【村】政治のリーダーシップだと思いますね。国が、総理が、本気でやる気になったら、僕はできると思います。皆さんも同感でしょ？本にも書いたように、国から権力を奪い取るというよりも、国の負担をもっと軽くしないとやっていけないと思う。震災直後でも全国各地からの陳情を聞かなければならない。あのパニックの状況下において、どこに道路を造るとか、あそここの保育所をどうするとか、補助金をどうするとか・・・そんなことまで全部考えるなんて無理に決

まっています。やはり国の負担を少しでも軽くし、国会議員は外交や防衛を中心に考えるべきだと思います。

【茂】私たちは、市民の皆さまに問題を提起し、意識を変革する運動を展開しています。力不足で私たちの運動が伝えきれないところも多々ございますが、市民一人ひとりが自らの力で社会を変革できると思えるようにしていかなければと考えております。市民の意識が変わっていけば、社会をよい方向に変革することはできないことではないと思います。まずは、我々が今まで以上に政治に関心を持ち、自分たちの地域は自分たちで作るのだという気概と決意を持ち、これからの活動を進めていきたいと思えます。これからもまだまだ大変な状況が続くと思いますが、宮城のリーダーとしてご活躍を期待しています。

【村】全力で頑張りますので宜しくお願いします。



村井知事の著書「復興に命をかける」「それでも東北は負けない」

ありがとう

感謝の想いを胸に ^{まち} 新たな仙台の創造へ向かって



SUN

2012.8.5

19:00~20:30

仙台西公園周辺

公益社団法人 仙台青年会議所 主催

第43回 仙台七夕花火祭



主催者挨拶
七夕花火祭特別委員会
委員長 引地 大介

1970年に仙台七夕まつりの前夜祭として、次代を担う子どもたちを対象とした"ぼくとわたしのお祭り広場"に端を発する仙台七夕花火祭は、本年度で第43回を迎えます。

昨年は東日本大震災という未曾有の大災害により、甚大な被害を受けた私たちの仙台(まち)が、復興への道のりを進む過程において、市民の皆さまの変わらぬご理解とご協力、そして全国から寄せられたたくさんの温かいご支援を賜りました。亡くなった方への鎮魂、復興への狼煙、新しい仙台(まち)の創造を花火に込め、夜空に大輪の花を咲かせました。

私たちはこの震災による逆境の中で、生活物資等の支援は勿論、被災者に対するこころのケアなど、有形無形の援助を

いただきながら、今日の生活を送っております。震災後から復旧段階、そしてこれからの復興にむけ、新たな仙台(まち)の創造をめざすため、全国・全世界からのご協力が必要となります。

本年度は、「ありがとう～感謝の想いを胸に新たな仙台(まち)の創造へ向かって～」をテーマに、この仙台(まち)に住むすべての人と、今までいただいた支援に対する深い感謝の想いを七夕花火祭をとおして広く発信するとともに、これから皆さまのさらなるご協力をいただいで、その感謝の想いを胸に新たな仙台(まち)を創造してまいります。



仙台七夕まつり
8/6(月) 8/7(火) 8/8(水)

仙台七夕まつり協賛会(事務局:仙台商工会議所)

共催 仙台七夕まつり協賛会

後援

宮城県/仙台市/仙台商工会議所/仙台観光コンベンション協会/七十七銀行/仙台銀行/社の都信用金庫/河北新報社/仙台放送局/
TBS東北放送/仙台放送/マイメディア/IOB東北放送/Date fm/Ables/SStyle/仙台リビンク新聞社/読売新聞東北総局/
朝日新聞仙台総局/毎日新聞仙台支局/産経新聞社東北総局/日本経済新聞社仙台支局/仙台CATV/J-COM 仙台キャベツ/東北電力

<http://www.sendai-jc.or.jp/hanabi2012/>

Twitter @sendai87b



3.11 わたしたちは忘れない 世界中に伝える “ありがとう”

2012年3月11日開催いたしました勾当台公園キャンドルナイトのご報告です。

東

日本大震災から1年を迎えた2012年3月11日(土)、

仙台市民広場において、震災後に国内外からいただいた多くの支援に対する感謝の想いを、仙台市民と共に世界中へ発信するために「3・11 わたしたちは忘れない」世界中に伝えるありがとう」を開催いたしました。

会場では、3527個の紙コップにロウソクを灯し「ありがとう」の文字を作成し、その紙コップには、仙台市内の小中学生や市民の皆さまに感謝の想いが込められたメッセージを書き込んでいただきました。そして、仙台市と三菱地所様のお心遣いにより、窓から漏れる灯りを利用し、「絆」と「3・11」を演出していただくことで、会場周辺と、会場近くの市民に一体感をもたらししました。

18時からの開始に先立ち、諸々の準備を進める中、14時46分を迎えます。JCメンバーと市民ボランティアが準備をしている間に、会場には溢れんばかりの市民が集まり、その全員で、海岸線のある東の方角を向き黙祷を捧げました。私たち市民のこころがひとつになり、お亡くなりになられた方々へのご冥福と、世界中からの支援への感謝の想いが溢れた瞬間であったと思います。

式典では、奥山市長から、「今日は市民の皆さんと一緒にありがとうの気持ちを発信していきたいと思

議所の茂木理事長と共に、紙コップへ感謝の想いを書き込みしていただきました。式典のエンディングでは、仙台市立八軒中学校吹奏楽部・合唱部の皆さまに「あすという日が」を含めた4曲の記念合唱のせ、全世界へ市民の想いを発信できたと感じております。

最

後に、国内外のメディアの協力も得て、世界中に感謝の想いを発信することができました。感謝のメッセージを書き込んでくれた小中学生の皆さま、仙台市立八軒中学校吹奏楽部・合唱部の皆さま、キャンドルを提供いただいた一般社団法人神戸青年会議所様、窓灯りによる「絆」と「3・11」を演出してくれた仙台市と三菱地所様、そして参加いただいた3000人を超える市民と市民ボランティアの皆さまのご協力のおかげであります。この場を借りて重ねがさね御礼申し上げます。ありがとうございました。



14:46黙祷をささげる市民の皆さま



仙台市立八軒中学校吹奏楽部・合唱部の合唱



紙コップに感謝の想いをこめる子どもたち

活動報告

東北地区協議会

東北地区協議会は、東北地区内77の青年会議所から出向しているメンバーが集まり、「立ち上ろう!東北～新東北の再建は我々青年の仕事である～」とのスローガンのもと、植松会長を中心として新東北の再建に向けて活動、運動を展開しております。

「東北青年フォーラムin奥津軽五所川原」
2012年9月1日(土)・2日(日)
青森県五所川原市

「東北地区卒業式」
2012年11月30日(金)
仙台市内

今後の予定



フォーラムと共に卒業式へも参加をお願い致します。

★詳しくは東北地区協議会ウェブサイトへ★

東北地区協議会 2012

「自立した新東北」事業

「自立した新東北」再建委員会

「自立した新東北」の再建ビジョンの策定のため、東北地区内6ブロックにおいてワークショップを開催しました。



ASPAC香港大会にて

震災復興特別会議

ASPAC香港大会のジャパンナイトにおいて、ブースを設営し、震災後の支援に感謝の想いを伝えると共に海外のJCメンバーに東北への来訪をお願いしました。

主な事業について

LOM支援事業

LOM協働委員会

77の青年会議所における会員拡大と、法人格移行への支援をしております。

リーダー育成事業

東北ゼミナール委員会

将来、各地域におけるリーダーとなる人材を育てるために、これまで4回の委員会において、各LOMからのゼミ生の育成や指導を行っております。



宮城ブロック協議会

宮城ブロック協議会は、あぶくま・石巻・泉・おおさき・栗原・気仙沼・さくら・塩釜・白石・仙台・とめの11の青年会議所が集まり、宮城ブロック協議会として活動しています。地域に根ざした運動を展開し、宮城県をよりよいものにするために私たちは日々活動しています！



今後の予定

「第42回宮城ブロック会員大会in泉」
2012年7月14日(土)
イズミテイ21(仙台市泉文化創造センター)

- ①メインフォーラム：エネルギーに関する事業「[Re-Li]fe」今を変える勇気～笑顔輝く未来への一歩～」
- ②防災に関するセミナー(みやぎ出前講座)「宮城に生きる～世界一防災意識の高いまちMIYAGIの実現～」などを学ぶことができます！ぜひご参加ください！(入場無料)
- ★「地域活性化からいち」も開催します！

★詳しくは宮城ブロック協議会ウェブサイトへ★

宮城ブロック協議会 2012

主な事業について

憲法を考える事業

LOM協働委員会

「宮城復興支援『絆』プロジェクト～新たなみやぎの創造～」の開催

憲法に関して「無関心からの脱却」をテーマにおこなった今回の事業では、憲法に関心を寄せていただくための様々な取り組みをしております。

メンバー育成事業

みやぎJCアカデミー委員会

研修事業

青年会議所メンバー向けの各種研修事業をおこない、地域を牽引するリーダーを育成することを目的に取り組んでおります。



エネルギーに関する事業

LOM協働委員会

国民参加型によるエネルギーに関する事業の開催(予定)

サステナブル(持続可能)な社会であるため、エネルギーの在り方についての意識を高めると共に、電力をはじめとするエネルギー使用者として効果的で有効的なライフスタイルについて、意識を高める運動をしております。

宮城県より感謝状をいただきました。

震災発生直後、宮城県災害対策本部に宮城ブロック協議会の災害対策本部を設置。支援活動をおこなったことに対して、宮城県より感謝状をいただきました。



2012年度上半期活動報告

2012年1月1日～6月30日

1 第1回総会 | 2012.01.23 mon | 江陽グランドホテル



1月23日(月)江陽グランドホテルにて公益社団法人仙台青年会議所2012年度第1回通常総会が開催されました。

当日は審議事項として、2011年度事業報告並びに会計報告・会計監査報告(案)の件、2012年度事業計画並びに予算承認(案)の件、2012年度の理事選任(案)、監事選任(案)、出向者承認(案)の件の各議案が審議され、満場一致にて可決・承認されました。すべての審議事項について滞りなく終了し、2012年度茂木宏友理事長新体制のもとで、公益社団法人仙台青年会議所メンバーが一丸となつて新年度のスタートを切りました。

2 新年式典 | 2012.01.23 mon | 江陽グランドホテル



1月23日(月)江陽グランドホテルにて2012年度新年式典を開催いたしました。

式典には、仙台市長奥山恵美子様をはじめとする多くの御来賓の皆さまと、公益社団法人日本青年会議所井川直樹君を筆頭に、全国各地の来訪J.C.の皆さま、そしてOB会の諸先輩方にご来場賜りました。

昨年東日本大震災に見舞われながらもJ.C活動を継続した、公益社団法人仙台青年会議所の事業報告を映像でご覧いただいたのちに、理事長茂木宏友君が本年度の所信表明をおこないました。

その後の懇親会では、ご来場いただいた方々と今後の仙台J.C活動について積極的に意見を交換し、年頭に相応しい式典となりました。

3 創立式典 | 2012.03.15 thu | 仙台勝山館



3月15日に仙台J.C六十一周年を祝う創立例会を開催いたしました。

東日本大震災の影響で開催を断念した、昨年のお祝いの意を込めて六十一回目の「お誕生会」を諸先輩方と共に祝いすることができました。

当日は仙台で活躍する劇団「大日座だいにちぎ」による演劇「明日を夢見た男たち」を上演いたしました。演劇をとうして「生かされていることへの感謝」の気持ちを感じていただけたことと思います。

「明るい豊かな社会の実現」への想いを共有する場として、またOBと現役メンバーがコミュニケーションをはかり、仙台J.Cに脈々と受け継がれてきた伝統を享受する機会となりました。

4 第5回例会(5月公開例会)開催 | 2012.05.13 sun | アークホテル仙台



5月13日(日)にアークホテル仙台にて第5回例会(5月公開例会)「私たちから発信 新たな仙台の未来」高校生ゆめサミット」を開催いたしました。

本例会は、高校生が仙台の未来に向けて夢や希望を思い描く機会として、3部構成でおこなわれました。第3部では、13校47名の高校生が仙台の未来を考えるというテーマでグループディスカッションをおこない、各グループの代表者が発表をしました。最後に、参加した高校生を代表して阿部望さんが「仙台の未来について」宣言をしました。今回の例会は市民の皆さまと高校生、J.Cメンバーを合わせて約250名の参加をいただき、大変充実した例会となりました。

感謝の想い溢れるまちづくりプロジェクト第2部 広めよう! 感謝の想い

スケジュール

- | | |
|---------|--|
| 1
回目 | 10:30 開演
10:40 ショートムービー上映
11:10 文集朗読 |
| 2
回目 | 13:00 開演
13:10 ショートムービー上映
13:40 文集朗読 |
| 3
回目 | 15:00 開演
15:10 ショートムービー上映
15:40 文集朗読 |

心に刻む。感謝の想い。

私たちは震災直後、各地の方々から数多くの支援をいただき、互いに助け合ひ合いながら復旧、復興への道のりを歩んでおります。その多くの支援により私たち一人ひとりが「生かされていることへの感謝」の想いを持つと共に、当時の記憶が薄れていかなないようにすることが、感謝の想い溢れるまちには欠かすことができません。第1部では、その感謝の想いを携帯ストラップとして多くの市民に持っていただき、想いを共有する事業と、感謝の想い溢れる作文を制作いたしました。今回の第2部は、第1部にて制作した文集をもとに、歌・映像を制作し多くの方々に見て、聴いていただけるように上映いたします。また、その文集の一部をフリーアナウンサーに朗読いただき、皆さまの感謝の想いを2017年にお届けする仙台市民の感謝箱を設置いたします!



ショートムービー上映

プロジェクト第1部にて制作した感謝の想い溢れる文集をもとに、坂本サトルさんに作詞、作曲をしていただき、復興応援ソングを作っていました! それに市民の映像を合わせたビデオを上映いたします! 必見です!!



坂本サトル

東日本大震災の直後、宮城県出身で友人の声優、山寺宏一氏とともに被災地支援イベントを開催。その後、避難所ライブや自衛隊駐屯地でのライブ等、被災各地で精力的に活動をしている。最新作は2011年3月30日にリリースされたCDアルバム「津軽百年食堂サウンドトラック」とライブDVD「光速を超えて」。

文集朗読

フリーアナウンサーの岩手佳代子さんに感謝の想い溢れる文集を朗読していただきます。心温まる映像と、皆さまの想い溢れる文集の朗読。感動間違いなし!是非ハンカチをご用意いただき、ご来場ください!



岩手佳代子

テレビでは、東日本放送「突撃! ナマイキTV」金曜日の「デパスパー一番のり」のコーナーで、藤崎からの生中継レポーターを担当。ラジオではf mいずみ泉区民ふるさとまつり生中継MCを担当。株式会社K's one代表を務め、携帯電話販売店の展開や、保育園事業を行う。

【開催日】
2012年7月15日(日)

【会場】
クリスロード商店街
桜井薬局セントラルホール



【お問い合わせ】
公益社団法人仙台青年会議所
仙台市青葉区本町2丁目 16-12
Tel. 022-222-9788
Fax. 022-222-9786



5年後のあなたへ

感謝箱と題しまして、5年後の2017年に届くようにお手紙を保管、投函いたします。自分または親しい人への感謝の想いや励ましのお手紙を書いて、宛先を記入し、封筒に80円切手を貼り付けのうえご持参ください。今言えない「ありがとう」を5年後に届けましょう!
※内容物は手紙のみといたしておりますので写真等の同封はご遠慮ください。また封筒には封をしなくてご持参ください。内容物がお手紙のみか確認させていただきます。



ストラップ作製

感謝の想いを多くの方と共有しませんか?
手作り携帯ストラップを製作して、感謝の想いを伝えましょう!
小さなお子様でも簡単に作れますのでご家族連れでご参加ください!!

ワークショップ開場時間
10:15~14:45

※感謝箱ご応募の方は、封筒に宛先をご記入の上忘れずに80円切手を貼り付けてご持参ください。



仙台JC

女子座談会 Vol.1

仙台JCの会員数は173名、うち女性会員は7名
少数派である女性会員に胸の内を語っていただきました!!

◆「女性にとって よりよいJC」とは

「司会」今回は仙台JCの女性会員の皆さま限定で集まっていたいただきました。女性メンバーの視点からJCはどのように見えるのか、女性にとってよりよいJCにするためには、どのような環境が必要か。普段はあまり話すことのない女性メンバーの皆さまの本音を、今日はお聞きしたいと思います。

「中村」会員の年齢層は25歳〜40歳の結婚適齢期ですので結婚しやすい環境とか？(笑)それは冗談ですが、女性が活動しやすい環境づくりは必要だと思います。

「三塚」京都会議にあわせ開催された全国女子会に参加しましたが、例会や委員会の開催時間を女性が参加しやすい時間にして欲しいという要望が多く、話題に上っていました。私はまだ独身なのでいろいろ自由ですが、結婚して子どもがいると例会や委員会から懇親会までの参加は時間的に厳しいと思います。育児休暇に関しては、休業とは別に「育児」という制度があります。その制度を利用しやすくすれば、復帰も容易にできると思います。

「岡田」やはり子どもがいる女性メンバーは活動する時間帯が夜・夜中になると厳しいかなと感じています。例会や委員会でも託児スペースの設置などの工夫が必要だと思います。

「後藤」私は実際に子どもがいますが、それほど負担にはなっていませんよ。発送作業などには子ども

もを連れて事務局で作業しています。子どもたちも他のメンバーが話し相手をしてくれるので楽しいようです。女性の新入会員に関しては、経済的な負担を心配して、入りたくても入れないとよく耳にします。特別会費とか女性枠とか工夫が必要ですね。

「鈴木」単純に女性の割合が増えたらよいと思います。今は女性が極少数派になっていて「女性」ならではの意見がとりにくい環境だと思っています。もっと女性の割合が増えればいろいろな意見が反映されて、女性でも会員として在籍しやすい環境になっていくと思います。

「米田」私も独身なので残念ながら現在何の問題もないのですが・・・でも今後結婚して子どもができれば、子育てと両立するのは結構大変になると思います。その点、後藤さんはすごいですよ、両立されていて・・・私は不器用なのでできるかどうか・・・というよりも、まだ相手もないので考える必要もないですけど(笑)

「中村」でも米田さん、今から卒業まで10年以上あるからね。今後に期待♪

「米田」ご期待に沿う機会があればよいのですが(笑)。男性メンバーが多いので男性目線で全てが動くのは仕方がない。女性メンバーが増えれば自然に女性の視点からの意見が反映されていきますよ!

「三塚」意見はとりにくいですが、ですね。仙台JCでは女性は少数派ですから。全体の3割くらいが女性メンバーというだけで変わると思



います。企業でも同じで、男性・女性の比率が極端に偏っている職場は、あらゆる面でバランスが悪いです。だから今の仙台JCにとって女性メンバーの増員は重要だと思います。

「司会」三塚さんと米田さんは会員開発委員会の幹事をご経験ですが、一般女性のJCに対する反応はどうですか？

「米田」今年、女性メンバー増員の担当として活動しましたが、100万都市仙台でもなかなか女性の入会者はありません。入会の案内をしても、あまりよい返事はないです。

「三塚」会員候補の女性に「明るい豊かな仙台を築くための運動をしている団体」であると説明すると共感していただけますが、やはり年会費や入会金の話をすると二の足を踏まれてしまうことが非常に多いです。会費に関する部分は変えられませんが、結果入会できる女性が限られてしまいます。実費としての会費と、仕事の時間を活動に取られることによる損失と

あなたのカーライフをサポートする自動車部品の総合商社



三和自動車商事株式会社

SANWA

◎アルミホイール修正 ◎油圧ホース製作 ◎タイヤ販売 ◎各種研磨 等

本社/仙台市宮城野区扇町三丁目8番7号(仙台自動車団地)
TEL: 022-232-0381

HP <http://www.sanwa-parts.com/>



長 篤 芙未さん
2010年…仙台JC入会
2012年…子どもの未来創造委員会



後藤 亜妃さん
2011年…仙台JC入会
2012年…事務局 次長



米田美由喜さん
2011年…仙台JC入会
2012年…会員開発委員会 幹事



中村 敦子さん
2008年…仙台JC入会
2012年…出向理事



三塚 愛美さん
2008年…仙台JC入会
2012年…協働連携特別会議 副議長



鈴木 佳奈さん
2011年…仙台JC入会
2012年…感謝の心創造委員会



岡田 真貴さん
2011年…仙台JC入会
2012年…協働連携特別会議

◆女性の委員長 が思うところ

「司会 昨年、中村さんはJC運動発信委員会の委員長でしたが、女性の委員長として行った例会や事業についてのご感想をお聞かせください。」

「中村」特段女性を意識して例会等
いう2つの経済的側面から、仙台市内で活躍している女性の方々からも「やりたいけど無理です」といわれてしまうことが多いです。
「米田」個人事業主の方は、お子さんが小さいと「子どもがいなければ入ったんだけどね」といわれることもしばしばあります。年齢的に20代後半から30代中盤の女性として丁度小さい子どもの育児時期です。
「岡田」ただでさえ仕事と家庭と子どもとで精一杯なのに、さらにJC活動を行うのは難しいですね。
「後藤」でも本当はそこが人生の頑張りどころだと思います。私は40歳までに行けることがたくさんあるなら、この期間は頑張らなきゃいけないって思っています。やはりやるなら今しかないですね。
「三塚」年齢もありますね。米田さんは若くして入会してくれましたが、若い女性は自分のことで精一杯な人が多くて「人のため、地域のために活動を行う時間はありません。」といわれることが多いですね。東京JCでは、多くの女性メンバーが活躍しているので、入会や制度に関して参考になると思います。



を設営したわけではないのですが、女性らしい設えになっていたりご評価いただきました。理事会や委員会、男性がたくさんいる中で活動し感じたことは、会話や言葉で物事を伝える方法に男性と女性とは少し違いがあり、女性同士では伝わる話も男性に話すと「うんうん」と聞いてくれるんですけど、伝わっていないことが多々ありましたね(笑)。
「三塚」それわかります!!理事会を副委員長としてオプザブした時は、当時の中村委員長のいつていることが私にはわかるのに、理事メンバーには伝わってなくて凄くもどかしい思いをしました。
「中村」そうそう、私ももどかしかった(笑)。
「三塚」男性が多い団体なので男性のやり方にある程度合わせなければなりません。女性特有の言い回しとか、物言いに性質の違いがあることを理解して欲しいですね。同じ女性として、理事会で発言している中村委員長がいたたまれなくて、自分が発言できるのであ

れば補足したいと何度も思いました。理事会の場で半分が女性であれば「それはこういうことね」という感じで理解していただける内容だったと思います。
「後藤」男性って気合が入っている時は強めの言い方になりますからね。でも同じ指示や意見・質問をいただく時も、言い方の強弱で、その後の動きは変わりますね。理事会のような厳格な会議では特に、語気を荒めに捲し立てて説明したほうが一見よい印象があります。そういう雰囲気のあるときには、女性も話題に入れないです。

「司会」全国のJCは会員の男女比率が男性に偏重しています。少数派である女性の意見を、もっと反映して、女性にとっても活動しやすいJCをめざしましょう。次号「仙台JC女子座談会VOL.2」へ続く...

「中村」JCを知らない女性ってたくさんいると思います。だからJCを知ってもらうためにも女性限定の例会がいいですね。
「三塚」東京JCの5月例会を担当したなでしこ委員会は、メンバーが女性のみです。例会は公開例会だったのですが、700名を動員したそうですよ。
「中村」JCを知らない女性ってたくさんいると思います。だからJCを知ってもらうためにも女性限定の例会がいいですね。

「中村」当時のJC運動発信委員会メンバーは、一生懸命やってくれたので「女性だからやりにくい」ということはなかったです。もし、もう一度委員長をやるのであれば、仙台の女性たちに仙台JCを知ってもらおう、また女性の参加者を中心とした例会をしたいです!!

次号予告

・理事長対談

- ・次年度のお知らせ
- ・仙台JC女子座談会VOL.2
- ・地区・ブロック通信

編集後記

公益社団法人仙台青年会議所2012年度広報誌「のぞみ」を拝読いただきましてありがとうございます。
本年は復興元年ということで、巻頭の宮城県知事村井嘉浩氏との対談で、震災後の県の取り組み、復興のあり方などをお話いただきました。また新たな連載企画「仙台JC女子座談会」では、女性の視点からJCに対する想いを語っていただきました。
本年度は「すべての人へ感謝の想いを胸に」というスローガンをもとに運動を展開いたします。広報委員会は広報誌「のぞみ」のほか、公式ウェブサイトを、対外メールマガジン、フェイスブックを活用し仙台JCの運動を発信していきますのでぜひご覧ください。
最後になりますが、のぞみを発行するにあたりご協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。



発行情報

- 二〇一二年七月一日発行
発行：公益社団法人仙台青年会議所広報委員会
住所：仙台市青葉区本町二丁目一六番二号 仙台階上 議所ビル八階
● 担当理事 中田昌宏 ● 幹事 伊藤 亨 和田玄樹
● 担当委員 村上英生 ● 委員 後藤雄大 齋藤謙士
● 委員長 中川啓朗 ● 副委員長 立花 翼 中尾裕之 長崎豊晴
● 副委員長 小川博仁 ● 編集 西巻 徹 野口勝美 福井崇正
● 副委員長 小西史人 ● 編集 堀内周光 松井佑介 門傳徳仁




Family First.

次もまた、ライオンズ。



※1宮城県庁前(徒歩3分)約100mの公園物件を望む(平成23年10月撮影)



東北初の「ザライオンズ」、超高層29階建、免震タワー、住宅エコポイント制度対応オール電化マンション。^{※1}
 (ザライオンズ定禅寺タワー)平成24年1月竣工(分譲済)
※1 国土交通省「住宅エコポイント制度」の対象物件として認定された。また、国土交通省「住宅エコポイント制度」の対象物件として認定された。また、国土交通省「住宅エコポイント制度」の対象物件として認定された。

最も居心地の良い住まいとは何かを求め続ける私たちが辿り着いた4つの答え。安心して過ごせる「基本品質」、ライフスタイルに合わせた「プラス1の発想」、自由にセレクトができる「発展性」、誠実でプロフェッショナルな「サポート」。ライオンズマンションに暮らすご家族に安心と快適をお届けいたします。

すべてのお客様に「次もまたライオンズ」と感じていただくこと。いきいきとした「家族の物語の舞台」であり続けること。

それが、ライオンズマンションの約束です。

(事業主/売主)

DAIKYO 大京

■株式会社大京 首都圏第一支店
 151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-24-13 TEL. 03(5410)1051(代表)
 ●国土交通大臣登録免許番号(12)第792号 ●(社)不動産協会会員
 ●(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟